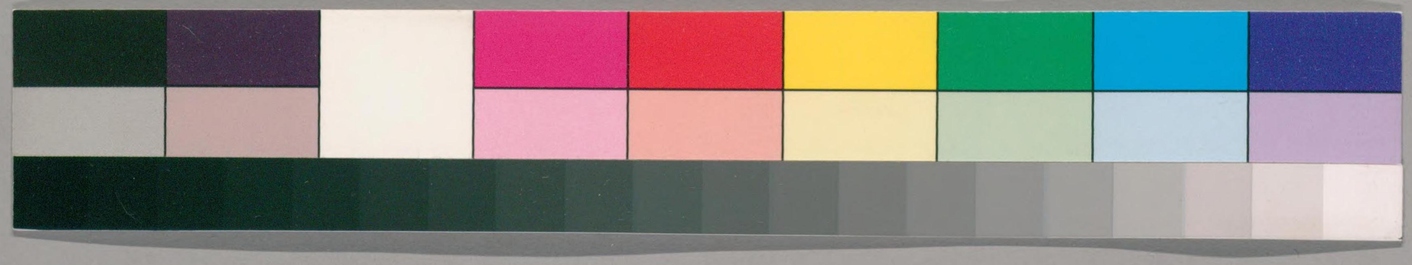


ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

857-119

年うたりて夜の法はてをすれば世の中
夜あらくまゐりて夜がへの程などをいまめかし
とまゐしてまゐりのころはれなりこの夜のかし
きんちよりげなるにおの秋院にはつまづくとなりがめ
給しおまへなるつるの志る風なるつし此につけて
をぷるに此人くはいひいばることをあるにはよ
里みそぎの日はいりにはどかにおぼけるとんとゝ
（葉ノ三日なし 午ノ日し）
らひ出のしさせ行へりぬふ
（思ヒカケヤヤ思ヒヨラヌフ）
かけさやは川瀬のなるもたちかへりまゐがみそ
ぎのふちのやりまゐと紫のうそまそ又すくよりにて
苔の花につけ行へりぬりのあはれなれだけ
（打シモ）

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

あトモアリ
（大夫生
（ウラ和訓）
（衣）
（ウラ和訓）
（衣）
（ウラ和訓）
（衣）

すぐれたるを後にたしてずしさんぎしかど女の
えしらぬ事まもらぶいかくれと我とうたてあまぶ
もらしけるつくだおうがくといふことをさせ行て。
やがてこの院のうちにはばうしつくまてまめや
かにぼうくふる紀師にあづけゆめし行てぞがくもん
せさせたてまつり給ふ大文のはもとにおさく
まうで給ひしよりひろうつくしこて粗ちごのやう
にもてなしきこゝ給へまいりしこにてハ無こ
のなるひ給ひしとてむづかるゝ所にこめたてま
つり行へるなりけり。八月に三さびがりを夜
いり給へとぞゆるしゆめし給ふるはとこもりぬ

給ひていぶせさまのくにはどのをつくるおかしま
をかれくるしうてでこそ紀らぬのがり。
世にもちぬらるゝ人はなくやはあるとおひきこし
給へどおかくるの人がまめやかにあぶめ紀ふる
ぬるくおもはすれだいとよく称んじていうでさるべ
きかどこくにもてぞまじらひもしよにを
出あむとおひて。あぐ四月のうちに史記などを
文はよみて行ひてぞりぬ今はまうじうをさせん
とてまゐりおまへにてんかんをさせ給ひ乃大
将左大臣式部太輔左中弁などだかりして。
師の大内記をめしてむさのうちに紀まさくまう

ごうひむよろものうへ（ハヤセノシンえニヌフシンスルヒ）
出てぴとつろうよまをきも
くうぐはよいひょうぐ紛つ
のこらびあさまーたまでありぐそれだりぐそれを祝も
まーてこおぐにたせます
なさおつのもえんびよ
おきりの（ヌカリヨヤニ）
ぬぐうぐうぐなぐうと
（思心ヌぎりノリユシニヨリモノヨミリ二（ビ）
ぬきりの（ヌカリヨヤニ）
ぬぐうぐうぐなぐうと
（ガホメル古ノ（ノサウアリテサカメクチ、

冠者 ガ　冬ヤリヲサス

又なくもてうづきてぐしてゐれば行ひ給ふ程に
ざのきこえ給ふさまげにおかしうもあはれにおぼえ
あてはうつくしげなり
乃たちまちまつぶきに并にさらに唐のすゑものどもを
とおぼしすてずいとしたしうもなるやうにてまゐりたまふ
おちしろものどもあり
をかくまびにおきたれば大子宮ニテ云ヨロム
めくのうちゆかろなるれば
まれをくとこのみらにかがみ
世のまよひありけるぞ
けるぞ人はきたるなどいふなることにより
ぬぎかくしうしなりて行きまどひたるに
をでしもいとどけしう
きげくぞうせさぶらひ
まつけてをみらくの乃
世にまれなりけるぞくて
れをこそ母宮をれうし
うけとりをしとつけ
さればよ并給ふん事
みゆりのムスメ
御母のまづ人よりさ
などうらくにまことなるこ
おぼしけるなどりゆゑ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

風ノチカラ
文選

やり給へれば、ぞくまごんひさしきを行てぞうちれば、
乃なかく今めさうとぞぼらん上ぜのこゑどもこそ
き紗へうゑとおもしろしぞなまるのこずゑなりろくと
のこゑぬはおいごごろなどとおもうしこの
しろはうしうをはどてこそ
すくるしとうらぶし紗てぞんのなるねどあ
なしく花氣なるゆゑゆゑべかれぞあそばさんやさて。
秋風樂はあれあせて
もしろかれどれさまぐ
おもひやりく給へぞ
きこゑ給へ紗へ
きこゑ給へ紗へ

笛の文選

侍従本

もり紗へ
くこのほかぐもんのあかがりなるんざまのなどく
よりあまりぬるをあぢきなきあぢはしれるまゝなるをぞ
ぞしれるまゝなるをぞ
らんとはしゐ給へなるべうこもりおはしするまゝなるん
ふぶるしう給ときこゑ給て
紗へ笛のをまをあつことはてぐ
ほつこまりぬとまうしたまへ
てくいみじうおもし給へ
とぐめてぞおとどぐたうしおどろくしぐぐうらなる
し給てはぎが花ざかりなるどうこひ給へ

乃法あそびよんとぞめ給ていそがし犯法まつりごと
どもとぞのがき給ふなりなりぱよあぢ犯なるさよ
ハヤナキ世ノヤナレバ ニヤウナナグ サミシテ スグシタキトし
よんのゆくまざとしてこそるし給かまりし名れ
などの給て法かりけまいり給ふくうなれど法ヲホ
とれあぶら乗り法ゆづきくごものなど雖をくき
こしめひぬめぎこいあるこよわこしたてまつり給
つ思ぬてけどとくもてなし給ひ法しとのねどうり
ムリニ をクスルし
をきうきをなくじといまこよれくつぎてきこと
給とぬとれし犯事ありぬべき世なるこそとちう
ウキヤラノ仟し
うつうまつるたるの法かこのねびぐどを法く犯
きなりぬとぞいて給ぬるやうまて思びてへうね
法中
女官ノゆし

史記 明君
左傳 擇子

の給とてたち行へ里なるとぞやとらいかなりていい
で給ふるまうるはらめ犯じと我するよあやしうな
ヌドモノサヽヤケバし
里給て法みくとぞめ給へだまぶ法うへとぞいしかし
カシコダテシ手
がり給へどぞへのあやよなのづくしまれたる事こそ
ヲヤ子ヌ ハシラヌトし
いでくべかれこをし犯といふ人ろぶとなありな
ゆしコラテイメトし
どぞつきしろふあさまし くをあるかされだよれ
サヤキテ云し
もひよのぬとよはあるねどいとけるを犯ぬどようら
ヲサナキニヲリコダシテ
ぬまゐえてよのまうら犯ぬまをありけるるとなし犯
とうぶくとんぬ行へどをとをそでいそ給ぬ法さ犯
カヤガ
大臣ナドハサキヲ
をふこ思のいるめしきよぞ犯のいまこそいでさを
ヒ アラタガケ デドコニイタニヒトし
行ひなれいぼれのくまのよおりしまのしつるんいま

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

おがされんとひめ君わたしてもろとをはあそび
るどし行へ宮はあづきたてまつりたるうしろや
をそれどいとさくぶりおよすけたる人たちまじ
てどのづからけぢか紀をあいたる紀ゆどはなりまた
まだなるんどきこえ行て像はわたし宮のし給宮へ
とあへるしとおがしてひと里抱せられし女なく
なり給て後いとさうぐしくんぼそうしまう
ましうこの君をえてぴけるうざりのうしづさ
ものと思て明善はつけておいのむつかしさをか
ぐさめんとこそとひつきぬひ乃ゆうはつぐてあ
りておがしなれをつくるんと宮のし行へばぐら

うしこまりてぐらはあらばとしふ給へらるゝ事へしうナラ又
るんとしふ行へらるゝとがり宮のしさせしはるん
うく面ぐてとしふ給ふる事はいうでる給ふん
らぬが世中うらめしぶ事はてこの比まうでゝ給ふぬと
つきぐはとひてたし給きばんぐるしうれん給ふ
とぬもろとをはあそびはぎとをしてるぐはめまと
おもしふ行へてるんあらうさまにあし給とてたぐ
みぐとなさせ行へるとおろうはいよをとひ宮のしさ
せじとし行へばうたがしたちまたれば
宮のし給とをおがしくすぐ紀はんなるあはいとあり
どにおしうおがされてぐのんこそうさあいあれと

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

ろげをつくし給ひきこゝあり。按察大納言ハ父ナリ
給ふへの文をらはいはしきよいまはあふこのうこは
てたゆ一雨なるなんとてまつりけるみなとぐめ
さを給て文づかへすべくおほせ事ぞとなる年なれ
だむすめ紙をのくたてまつりけるとのゝまひ姫
は姓光の物語の語のうこまてたゝまゝ更かけるる
（伯史ムスメヤ）
むすめかたちなどいとたゝしおなる事ゝあるを
めしかゝるいとはもひされど大納言（アゼチ）のなりだら
乃むすめをまゝ御なるまゝあそんのいりきむす
めいぶしあてさゝんなまのちぢうあるべきとさい
なめんぞまゝびてたなじくい文ばかへやがてをさしべ

くさひをさてあるまゝひなるりしなどはさとまて
いとよう志ゝてゝぞしづきなどもこしうあまそふ
（東北ニツキイルモノヤ）
ぐさはいうじうえりとゝれへてぞの日のゆふつけ
てまいらをこゝ殿（は）まゝ語ゝこぐれまゝはしをづ
かへのまゝれさるをとゝ語ゝじくゝべえりいでらる
ゝらどもはなどくまつけていとおもぐしげ
なり。（ゴゼン）語ゝのまめしてゝ語ゝんぜんうらなしは語ゝ
（物語ノ四三）
とわたらをてとはぐあさを給ひ（ロノナラシニ語ノ方ニテニワモト）
とりぐなるわらはべのやうだいくらをおぼしまづ
（えステラレヌワラハドモ）
らひていまゝところれまうをこれまりたてまつらば
やなどまゝひ給ひてもてなしようよりてぞ

えらびまいりくるぞ（タギリ）の君むすめのこゝろ（セサトワカレ大王ノ君ヨリ）ものなどをかんいまられどくつしいてくてゐこもよまでなげめかし紆へるとぞ（ナグサ シヤトヒ）もやなぐさむとさら出てまゐざれありさ給さまゐらくゐめでさくわるしげまて志げやうまなまめい紆へまだぞ（タギリヲホメタリ）紀女房などいとわかしとみまるぞ（笠）へのたゞこうしハみすのまへまゐにものちかうをもてなし給ひぬまゐらんなんひいくまおぼしまゐありくんうとく（国好色ナレバ笠ノ色ヘタギリ）しくれだごぶらるどをけ（タギリト）ど紀さをぞしハものゝまゐざれまいりたら紆へるなめりぞ（作者ヲ三ニ出ル）ひ定めらしづさ（ヤヤ）ゐらはりてつまどのまに屏風などとて。

かりそめのしつらひなるまやをとゝまりてのぞきかりいとゞ（ヤヤ）紆へだなるやまいしげまてそひふしありさゞ（タギリカ）れ人乃姉ぞ（大キサ）みくて今すこしそびやうまやうだいなどのしとちらびたりしき所ハまさりてちへ（セイ）ゐ（セサ）ぐらくれだこまゐまゐみくねどおどのいとよく思ひ出らるゝさまゐまゐぐうつるとハなくれどさゞまをあらでさぬのすまをひさなしゐ給ふなるまゐろをなくあやしと思ふま

（父王ノ）あめまますとよまゐびめのこやぐへをまゐがんざをしめとまする姫こげうさのとの給ふぞうらつけなりくるまゐ（タギリ）おかしきこしをなれどされ

弟宋分

豊姫 天照大

姫人女

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

まてをわ一行へこやぐ(女)ろふまうでにあ
行へてーぎうるれ(なび)よにまるでこくあの
兄弟のまでも思てようかもあるとれもうるふう
ちれやくのんだくともでて(ゆか)
もめでいてるれどもてのくよふあるまでせん
約よめのちるづ(犬ふ)さうめ一れよ(メギリ)いとれと
人はくくらいはくうてても世ろひーめり行へまる
なるんよ海ううあ一きょるとてるれおい
ーまひつくちもたよ(ホ)えんモアんカヌれ
ぎれやうよてなう一まのいはありきーるれ
ぎれやうよてなう一まのいはありきーるれ
ぎれやうよてなう一まのいはありきーる

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

ゐ（ま）し　尼ノ衆ヨリ文ヲ

ねばくうつゝぬあざやうよそこしる（ま）くまれよういラスト

こてまでさ（ま）ーとせうひて

うくひとのするを並てはづこゝろのそこ（ま）ニテガキ

ゆくくーくおりーまひこれいはわさそーざ

うらくこのまるれいあまゝ又ヲ

みうさやそーてけうこやあくてた

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

進士・禮記

つくり給て（シンジ）進士になり給ぬとしつもれるうしこ
きものどもとうらせ給しうどもさうだいの人まづ
うは三人なんありける秋のつかさめしまうふりえ
て（夕ぎり）侍従になり給ぬ（兎キ）の人の御事まするくはなりけ
まどぬくのせちまはもりきこえ給をつくられば
まりなくてなどもたいめんし給ひぬ御せううこ
だかりさわぬべきたよりまゆくし給てぞくゐんよん
ぐるし（源）御なりなり大夫（源）づかなり御とまゐを
おなじくいひろく（廣フ立テヤ）ゐんありてあうしこまておが
つかなさ山里（アヤシ）人などをもつどへ（一ニアツメテオカント）ともませんの御心よ
て六条京極のわたりまゆ文のふるさ文れをと

まゐ後まゐりをしめてつくらを給式（笠）ゐ文あるん
年ぞ（四ツ）（ヨツ）（言ハ）まなり給ふるを御かへの事たいのうへ（笠）
がしまゐうろまゐ（ほ）ぐらをけまゐ（ヲアニト中ヲシケレドモ）ぐら御事ども
なりとおがしてさやうの御いそぎをおなじくい
めづらしうんの（古今ノ）家（フシン）井まてというかせ給ふとしう（伝西四）
つりてはまゐしてこの御いそ御の事御とし（海）ゐんの
事ぬがくへまゐひ（ウド）人の御ぐめるど後御ふんまいれていと
なるを給ひ御をもかうしの日の御うぞくぐらどもを
などとなんうへ（笠）はいそがを給ふるひんがしの（花チルト笠ト中ヲナレバ花チルノ方ヘモ）ゐまを
まけてし給事どもあり御なりうひまゐしてい
とこやびうは（ヤヨキ）ゆうしうりしてなんすぐし行ける。

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

うへて水のおもむきやまのをきてをあらくさゆんて
さまぐにはなかさぐくのはねがひのんだへをつくるを
行へりぬれかんのひんがしハ山さうく春の花の木ら
ずをつくしてうゑ池のさまにおもしろくすぐきて
おまへちかさせんざいの菓こうだい様ゆらやまぶ
きいたつゝじなどやうの春のもてあそびをやざ
とハうへで秋のせんざいをだむらくほのうにまぎる
まぎれ夏の花まちをだもこの山にもみぢれるこ
うるべきうへ木どもをうへいげうの水と浅くもまし
やりあのをとまはるべきいたゆくてくれへ渋
ゆくして秋の野の浅はうつくりうるその所に

あひてさうりにさうぞくされあり。さがの大井のわた
りの野山ぬとくにけ浅されある秋なり。水のひんが
しハすゝしげるいげこありて夏のうげによれ
まきへをきお栽くれ行ちる風すゞしうるべくこ
だうさもりのやうなる木どもこずくおもしろく
山里めさてうの花うさねしとはうにおわなして
むかしにおぼゆるれしうちだれるでしこはうび
くさにはるどやうのくれのくさぐうへて春秋の木
若にその中にうゑ池まぎこうまぬんがしおもてハわ
なてむまだの神とぐつくりらちゆひて八月の花
あそびどころまて水のおとまにさうびうへしぎ

らをてむろひにみまやしてよになさとゝめどを
をとゝのへさてさを給へりぽしのまちハ和おまて
乃つさまけてみらまちなりぺぞてのう紀に
かゝ行うへて松のきぽしぞく雪をもてめそげん
たよりにまゐせるまゐをのはじめあさ雪むすぶ
べき菊のまゐぶ紀まれハがなるはそれ花さく
ゑをしゝぬ丸山木どもとのこぶう紀るど紀うつし
うつるまぴがむの比かひとり給ふぴとさびに
とけぐめさを給しうどもさまうじきやうなりと
てぽ文ハすこしのべさを給まいのおひゝうに分し
きだまゐ花ちろさとぞぷれよそひてうけろひ

給ふ雲乃花ちつゝひにこのごろにあらねどいとんこ
となり花車十五花ぶ面位又位うちまて六位殿上
人ちなどハ花るべきうざりえ世行つりぷこちる紀
まハあらぼよのそしまゐやとちぶき行へまバなに
おしをゆどろくしういうめしきことハなしいま
そとうこの花ろしきをおさくたとし給ふで。侍
後の君そひてぞちるこハまてうしづき行へだけに
うしをあるべきまゐなりうりとみくあり女房れさ
うじまちちなどをあてくのこまけぞおなるこの
おとよりをめでぬうりける文宮すぎて中宮
まうでさを給ふこの花ろしたちさはいべどいと

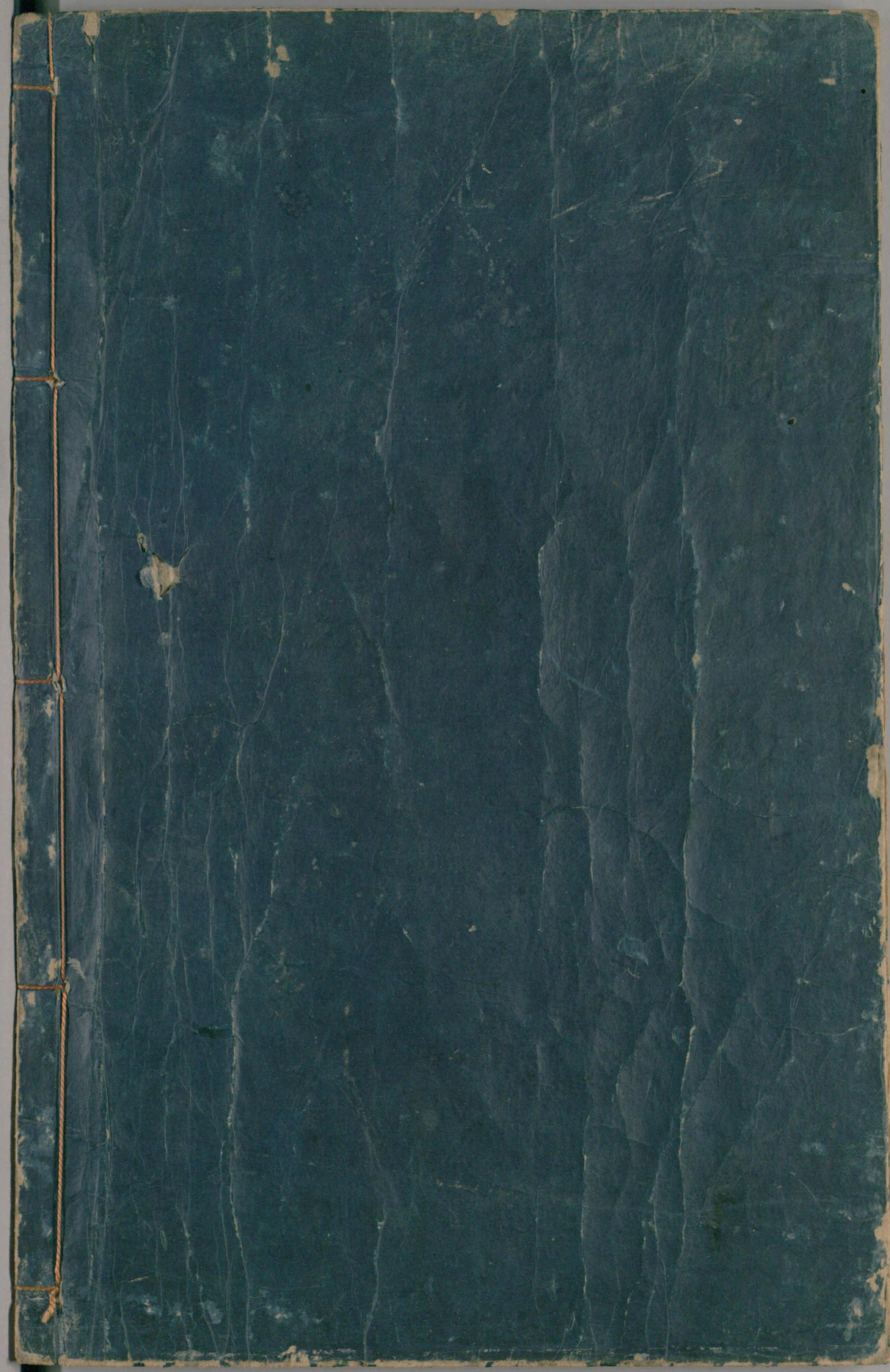
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

857
119

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119

ガラス使用